

# 毎月実施している主な統計調査の概要

## 労働力調査

- 日本の就業や失業などの状況を明らかにすることを目的として実施しています。
- 男女別・年齢階級別の就業状態、産業別や職業別の就業者数などを調査しています。
- 調査結果は、景気判断や雇用対策に活用されています。

総務省統計局



## 小売物価統計調査

- 消費者物価指数やその他物価に関する基礎資料を得ることを目的として実施しています。
- 小売価格、サービスの料金及び家賃を、店舗及び事業所を対象に調査しています。
- 年金等の給付見直しの際の基礎資料や、日本銀行が金融政策を判断するための物価指標などに利用されています。

総務省統計局



## 家計調査

- 国民の生活の実態とその変化を家計の面から明らかにすることを目的として実施しています。
- 世帯の収入、支出、貯蓄などを調査しています。
- 景気動向の把握、生活保護基準の検討などの基礎資料として利用されています。

総務省統計局



## 毎月勤労統計調査

- 雇用、給与、労働時間の毎月の変動を明らかにすることを目的として実施しています。
- 事業所を対象に、労働時間や給与額などを調査しています。
- 雇用保険や労災保険の給付額を改定する際の資料や、人件費の算定などに利用されています。さらに日本の労働事情を表す資料として海外にも紹介されています。

厚生労働省



## かたり調査にご注意ください！

「かたり調査」とは、国勢調査等、行政機関が行う統計調査であるかのような、紛らわしい表示や説明をして、世帯等から個人情報等を詐取する行為のことです。

「かたり調査」は、統計調査の実施を妨げるだけでなく、詐欺やその他の犯罪にも繋がりがねません。

県や市町村が行う統計調査は、写真付の調査員証を持った調査員が各世帯を訪問して行います。不審な電話や訪問を受けたら、大分県統計調査課または市町村の統計担当課までお問い合わせください。

# 令和6年度に実施する周期調査の概要

## 令和6年全国家計構造調査

目的	家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにする。
期間	令和6年10月～11月
対象	全国から無作為に選定した約90,000世帯
調査事項	<ul style="list-style-type: none"><li>• 日々の家計の収入と支出</li><li>• 年間収入</li><li>• 預貯金などの金融資産 など</li></ul>
結果の利用	国民年金・厚生年金の年金額の検討、介護保険料の算定基準の検討など、重要な政策に使われます。

## 2025年農林業センサス

目的	農山村の基本構造とその変化を把握し、農林業施策の基礎資料を得る。
期間	令和7年2月1日現在
対象	農林業を営んでいるすべての農家、林家や法人
調査事項	<ul style="list-style-type: none"><li>• 経営耕地面積</li><li>• 農作物の作付面積、家畜の飼養状況</li><li>• 農産物の販売金額 など</li></ul>
結果の利用	様々な農林行政施策を企画立案するための指標として活用されているほか、地方交付税の算定基礎や各種統計調査の名簿作成などに利用されています。

詳しくはコチラ👉

全国家計構造調査



農林業センサス



調査へのご協力  
よろしくお願いたします！

